



令和2年度学校教育目標

「ふるさとと人を愛し、自らの夢に向かって、力強く歩み続ける子どもの育成」

6年生の取り組み紹介



9月に新型コロナウイルス感染症について正しく知る学習を全クラスで実施しましたが、しばらく時間がたったのと感染拡大が続いている状況を踏まえ、改めて各クラスで授業に取り組んでいます。

まず、自分たちが知っていることを出し合っています。6年生ですので、たくさんを知っていることが分かります。

次に不安なこととして、ある子どもはこのように記入していました。

「感染したときに周りの人からどういう風に思われるのかが不安。身近な人がかかったときの対処法。もし感染したら他の人にうつしてしまうんじゃないかと不安になると思う。」
正直な思いだと思います。大事なことはそういった不安を出し合って、だからどういうことに気をつけていけばいいのかを考えていくことだと思います。

子どもたちが感じている不安

- ・自分がかかったら
- ・自分がひろめてしまったら
- ・いじめ、差別
- ・情報は正しいか
- ・どう対処するか
- ・命の不安

子どもたちが考えた大事なこと

○病気

- ・手洗い
- ・うがい
- ・消毒
- ・3密をさける
- ・マスクの徹底
- ・不要不急の外出をしない
- ・気を抜かない

○不安

- ・情報を正しく知る
- ・うわさに流されない

○差別

- ・誰にでもリスクがある
- ・「自分だったら」
- ・空気が大切
- ・きちんと説明

こういった学習をとおして、正しく自分で判断し行動できるようになることをめざしています。お互いの人権を守るためにも大切な力だと思います。

*裏には2年生の取組紹介とおすすめの本シリーズ17を載せていますのでご覧ください。

食への感謝（2年生）



1 / 25 ~ 1 / 29は給食週間でした。日頃お世話になっている給食センターの調理員さんへお礼の手紙を書いたりします。

2年生は、給食センターの調理員さんと食材を提供して下さるトマト農家の方にお礼の手紙を書いていました。

食について考えることは、子どもたちのよりよい食習慣を形成していく上で大切なことです。

食が届くまでには、いろいろな人たちの関わりがありお世話になっています。そのことに気づくためにもいいことだなあと思いました。

自学ノート紹介



少し前に5年2組の自学ノートを紹介させていただきましたが、今回は5年1組です。

1日1Pということで、写真は2人分になります。左のノートには、算数の割合、漢字の書き順、理科の電磁石、節分のことなどがまとめられています。おもしろいのは、牛肉の部位の名前が図入りで解説してあったことです。

右のノートには、社会の環境学習、苦手な英単語、算数テストのやり直し、理科の電流などがしてあります。そして、どちらのノートにも短く学習後の感想が記入してあります。他にも紹介したいノートばかりだったのですが、紙面の都合で2人分にさせていただきました。

こういった自分で考え決めて行う家庭学習は中学、高校ではより重要な力となります。高森中央小の子どもたち全員が身に付けるよう取り組んでいきたいと思えます。

おすすめの本シリーズ17



今回紹介するのは科学冒険ものです。

- ①本名「アルバートおじさんの時間と空間の旅」 ②対象年齢:4年から
③著:ラッセル・スタナード ④訳:岡田好恵208P ⑤出版社:くもん出版

科学者アルバートおじさんの姪ゲタンケンは、宇宙船に乗って”光”を追いかけ、時間と空間の驚くべき秘密を発見する。何と相対性理論がよくわかる楽しい科学冒険ファンタジーです！